

記入例

令和 年度

所有者コード

種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者

ヘアサロンやくば

2枚のうち
1枚目

当町への申告が初めての場合は、既申告情報がありませんので、全資産申告をお願いします。

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得価額(イ)			耐用年数	価残存率(ロ)	価額(ハ)	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月				率	コード			
01		1	火災報知設備	1	3	62	10		607,304	8				① 2 3 4	
02		2	広告塔	1	3	63	12		850,000	10				① 2 3 4	
03	1	3	駐車場アスファルト舗装	1	3	63	12		925,000	10				① 2 3 4	
04	1	4	水銀灯	1	4	1	7		335,000	15				① 2 3 4	
05	1	5	防犯設備	1	4	9	10		193,990	5				① 2 3 4	
06	1	6	店舗内装	1	4	29	6		1,767,557	17				① 2 3 4	
07	1	7	電気設備	1	4	29	6		254,680	12				① 2 3 4	
08	1	8	給排水設備	1	4	29	6		239,037	12				① 2 3 4	
09	1	9	エアコン	1	4	30	5		235,224	6				① 2 3 4	
10	6	10	キャビネット	2	3	55	11		497,600	8				① 2 3 4	
11	6	11	金庫	1	4	4	3		190,000	20				① 2 3 4	
12	6	12	応接セット	1	4	8	4		291,984	8				① 2 3 4	
13	6	13	陳列棚	1	4	13	9		490,000	8				① 2 3 4	
14	6	14	デジタル複合機	1	4	21	1		929,250	5				① 2 3 4	
15	6	15	理容椅子	1	4	23	9		300,000	5				① 2 3 4	
16	6	16	冷蔵庫	1	4	25	12		246,285	6				① 2 3 4	
17	6	17	店名看板	1	4	29	6		264,600	10				① 2 3 4	
18	6	18	洗濯機	1	4	29	6		186,000	6				① 2 3 4	
19	6	19	シャンプー椅子	2	4	29	6		1,181,546	10				① 2 3 4	
20	6	20	促進器	1	4	30	4		200,000	5				① 2 3 4	
小計				21					10,185,057						

資産コード欄は記載不要です。

資産の種類欄は、「1.建築物」「2.機械及び装置」「3.船舶」「4.航空機」「5.車両及び運搬具」「6.工具」に対応する1～6までの数字を記載してください。

資産の名称等欄は、物件が特定できるよう、必要に応じて規格・型番等も表記してください。

同種の資産を同時に複数取得した場合は、その数量及び金額をまとめて1行に記載してください。(減少の時期が異なる見込みがある場合等は別行記載でも可)

年号は、「1.明治」「2.大正」「3.昭和」「4.平成」「5.令和」に対応する1～5までの数字を記載してください。

価格欄、課税標準額欄は、計算が難しいようであれば空欄でも差し支えありません。ただし、電算打ちによる全資産申告の場合は記載してください。

耐用年数欄は、法人税及び所得税における法定耐用年数を記載してください。

注意 「増加事由」の欄は、1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受入れ、4.その他のいずれかに○印をつけてください。

令和 年度

所有者コード

種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者

記入例

ヘアサロンやくば

2枚のうち

2枚目

第二十六号様式別表(提出用)

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額(イ)	耐用年数	価残存率(ロ)	価額(ハ)	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	6	21	給湯器	1	4	31	5	150,000	5					① 2 3 4		
02	6	22	パソコン HP PROBOOK 450 G3	1	5	2	1	128,926	4					① 2 3 4		
03	6	23	パソコン PC-VK23 TXZDT	1	5	2	2	107,800	4					① 2 3 4		
04	6	24	テレビ	1	5	5	4	500,000	5					① 2 3 4		
05														① 2 3 4		
06														1 2 3 4		
07														1 2 3 4		
08														1 2 3 4		
09														1 2 3 4		
10														1 2 3 4		
11														1 2 3 4		
12														1 2 3 4		
13														1 2 3 4		
14														1 2 3 4		
15														1 2 3 4		
16														1 2 3 4		
17														1 2 3 4		
18														1 2 3 4		
19														1 2 3 4		
20														1 2 3 4		
小計				4				886,726								

摘要欄は非該当資産・課税標準の特例が適用される資産・短縮耐用年数を適用している資産、増加償却を行っている資産について、その旨記載してください、法令の改正により耐用年数が改正された資産等、資産の価格の決定について必要な事項がある場合や、資産が増加した事由について特記すべき事項がある場合は、その旨記載してください。

小計欄は、その頁毎の合計を記載するのが原則ですが、電算システムの都合等により、資産の種類ごとの合計を別表記したり、総合計のみの記入とすることも可。

注意 「増加事由」の欄は、1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受入れ、4.その他のいずれかに○印をつけてください。